

## 活動記録(2024年上半年) ~出席した主な公務や地域行事など~ (個別の面談や訪問、会合などは除いています)

1月

- 5 農林水産委員会 正副委員長勉強会
- 7 小竹町二十歳を祝う会、宮若市はたちのつどい 小竹町商工会 新春挨拶会
- 8 麻生太郎、新春国政報告会@ユメニティのおがた
- 9 農林水産委員会 管内(飯塚農林) 視察(~11日)
- 11 麻生太郎、新春の集い J.A直轄 音楽祭、直方青年会議所 1月度例会
- 15 自民党県連 総務会 子育て支援・人財育成調査特別委員会 管内視察(~17日)
- 16 全国青年局長 合同会議、中尾正幸 新春懇親会
- 21 宮若市消防団 表彰式、くらべての明日を考える会 福岡県生活衛生同業組合連絡協議会 新春交流会
- 25 直轄自動車・次世代産業研究会 合同新年会
- 26 自民党青年局 定例会議
- 27 鞍馬新年度会
- 28 県連新年会 女性局 頭銅募金活動@博多駅前
- 29 九州各県議会議員交流セミナー@日航ホテル
- 30 築豊地区中小企業団体連合会 新年賀詞交歓会
- 31 九州沖縄防衛議員連盟連絡協議会 総会、研修視察

2月

- 2 若宮地区消防まとい会 研修会
- 3 小川がん祭り説明会 自民党宮若・鞍手郡連合支部 総会
- 6 農林水産委員会 管内(八幡森林) 視察(~7日)
- 9 九州観光振興連絡会議、九州観光振興大会
- 11 築豊地区 建國記念の日 祝賀式 中山不動尊 分星祭り
- 14 築豊地区私立幼稚園 PTA連合会 役員総会 福岡県歯科医師連盟 県議(東地区)との懇談会
- 15 代表者会議、自民党県議団 役員会、議員総会
- 16 福岡県ワールドスマイル国際フォーラム ワンヘルス県民講座@アコス福岡
- 17 福岡教育連盟 築豊地区 後期総会・研修会 // ワンヘルス県民講座@アコス福岡
- 22 例会(会議:開会式)
- 23 陸上自衛隊飯塚駐屯地「音楽のタバ」
- 24 鞍馬電鉄高電 電鉄太割 定期演奏会
- 26 例会(考案日)、自民党 宮若・鞍手郡連合支部 役員会
- 27 例会(考案日)
- 28 例会(考案日)
- 31 例会(会議:代表質問)



3月

- 1 定例会(会議:代表質問) 県連 FUKUOKA 政治塾 福岡・大阪関西万博 運営運営シンポジウム 鞍手町公園環境美化清掃
- 4 定例会(会議:一般質問)
- 5 定例会(会議:一般質問、農政懇話会)
- 6 定例会(会議:一般質問、予算特別委員会)
- 7 定例会(常任委員会)
- 8 J.A直轄 少年野球教室 宮田、若宮農業交流会 合同講演会
- 11 例会(予算特別委員会)→花田質問
- 12 例会(予算特別委員会)、党青年局 中常会議
- 13 例会(予算特別委員会)→花田質問
- 14 例会(予算特別委員会)→花田質問
- 15 例会(予算特別委員会)→花田質問
- 16 例会(予算特別委員会)→花田質問
- 17 例会(会議:閉会式)
- 22 例会(会議:閉会式)
- 23 県連 学生部 卒業式
- 25 宮若商工会 青年部 卒業式典
- 26 自民党青年局 中央常任委員会
- 29 福岡県神奈政治議員連盟 情報交換会 陸上自衛隊 飯塚駐屯地 57周年記念行事、祝賀会
- 31 宮若レインボーカンパニー 定期公演

## ご報告・ご案内・お願い

### 自民党定期大会で議長団に選出

3月17日、都内ホテルにて開催された自民党的定期党大会において、全都道府県の最年少青年局長として議長団の一人に選出されました。一連の政治資金問題等で国民党から厳しい視線が集まる中でありましたので、1600名もが参加する緊張感に包まれた会場での議事進行は大変貴重でありました。私も党所属議員の一人として、覚悟をもって信頼回復に努めてまいります。



### 一日も早い拉致被害者の救出を

6月16日(日)、博多駅前で「北朝鮮による拉致被害者の一日も早い救出」と「時代に合った憲法の改正」をテーマに、自民党青年局の街頭演説会を行いました。横田めぐみさんは拉致された当時13歳であり、46年が経った現在は59歳になられています。



### プロフィール

**【主な略歴】**

- 1986年(昭和61年) 5月14日 小竹町生まれ O型
- 小竹町立 小竹南小学校・小竹中学校 卒業
- 福岡県立 鞍手高等学校 普通科 卒業(57回生)
- 北九州市立大学 法学部 政策科学 卒業
- 衆議院議員 山本幸三 秘書(約10年)
- 福岡県議会議員(2021年6月28日~) 現在2期目
- 九州大学大学院 経済学府 修了(QBS 18期)

**【家族構成】**

※年齢は今年度で  
父、母、妻、子4人(長男9歳・長女7歳・次男5歳・三男3歳)

**事務所案内** 基本、平日9:00～17:00が開所時間です。  
(土日開所は週によります)

**T 823-0003 福岡県宮若市本城 1108**  
(本城交差点セブンイレブン横・とり坊主さん隣り)  
T E L : 0 9 4 9 - 3 2 - 1 1 9 1  
F A X : 0 9 4 9 - 3 2 - 1 1 9 2  
E-mail : n.hanada.fukuoka@gmail.com  
H P : http://n-hanada.jp



※本紙は私が得た各種資料や調査結果をもとに作成しております。細心の注意を払っておりますが、情報に誤りや表現に不適切な点がございました場合は事務所までご連絡くださいませ。

### 【現在の主な役職】

- 自由民主党福岡県議団 副会長
- 農林水産委員会 副委員長
- 子育て支援・人材育成調査特別委員会 委員
- 農政懇話会 事務局長
- J R九州福北ゆたか線活性化促進議員連盟 事務局長
- 自由民主党福岡県支部連合会 青年局長
- 自由民主党宮若・鞍手郡連合支部 顧問・政務調査会長
- 福岡県総合計画審議会 委員
- 一般社団法人 直方青年会議所 理事

### 編集後記

7月3日に新紙幣が発行され、長年一万円札の顔であった福沢諭吉さんも変わることになりました。著書である『学問のすゝめ』の「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず」という言葉は有名ですが、これには継続があり、その真意は「～と言われるが、世の中には実際に様々な不平等や差がある。だからこそ、それらを埋めるため、生まれないために“学ぶ”ことを勧める。」と説いてあると言われています。しかし現代においては、学ぶ手段が多く速くなった一方で、誤った情報も散見されます。私も「学び、伝える」両方の立場として、偏ることなく正確な情報を扱うよう心がけたいと思います。(花田)

福岡県議会議員  
宮若市・鞍手町・小竹町 選出

はなだ  
花田 尚彦



### 令和6年度 予算

## 福岡県の未来を見据え、「成長・発展」を加速前進!

**総額 2兆2,207億円**

※令和5年度12月および2月補正予算+令和6年度当初予算による16ヶ月予算(一般会計規模)

### 目的別経費

歳出をサービスの目的ごとに分類したもので、学校教育のための「教育費」や商工業振興のための「商工費」、保健医療介護の充実のための「保健費」、福祉の充実、雇用対策などのための「生活労働費」、犯罪捜査など警察活動のための「警察費」などに分けられます。

### 保健医療介護の充実に

**約4万8千円 (11.5%)**

- 外科医確保のための遠隔手術指導を支援
- ワンヘルスセンター研究力の強化

### 商工業の振興に

**約5万5千円 (13.2%)**

- 半導体「最先端実装」開発拠点化の推進
- 中小企業向け制度融資の充実

### 道路・住宅・まちづくりに

**約2万7千円 (6.5%)**

- 道路、河川、港湾、公園など社会資本の整備
- 被災した道路や河川などの復旧

### 農林水産業の振興に

**約1万1千円 (2.7%)**

- 先端技術の導入による生産力の強化
- 農林水産物のブランド力を向上

### 環境対策に

**約1千円 (0.2%)**

- 太陽光発電設備等の共同購入を推進
- E Vバッテリーリユース・リサイクルの福岡モデルを構築

### 県債の返済に

**約4万8千円 (11.6%)**

- 「臨時財政対策債」の発行規模の縮小や、通常債の償還が進むことにより、県債残高は減少する見込みです。

一人一人が権利と責任を自覚し、互いを尊重し合う政治・社会の確立を。

昨年末から続く自民党内の一部派閥の政治資金をめぐる問題は、政治資金規正法改正により、罰則・責任の強化や透明性の向上といった再発防止策が講じられることとなりました。これら会計処理の適正化は、もちろん自民党以外の政党にも求められることであり、無所属の地方議員や首長も同様であります。「会計処理が大変だ」「単純ミスだった」などの言い分は、厳しく納税をされている有権者からするとただの言い訳でしかありません。私も議員の一人として、緊張感をもって適正な処理に努めてまいります。また、福岡県議会においては海外視察の在り方に関する報道がなされました。指摘を受けて議会では改革プロジェクトチームが立ち上げられ、「予算執行の根拠の明確化・合理化」「経費の節減」「派遣議員以外の議員の同行」「海外活動に関する事前・事後の公表」などについて議論され、答申が議長に提出されました。海外視察に限らず、議員や首長など公職にある者は活動に対して一定の報告を行う責務があることは思いますが、その手段や頻度は個々人で様々なのが現状です。私は当選以来、本活動報告紙をもって(限られた字数ではありますが)報告を行ってまいりましたが、果たして皆様に認められる内容となっていますのか…その評価は気になるところではありますが、今後も引き続き試行錯誤を忘れずに努めてまいりたいと思います。こうした政治家の規範が問われる中、4月に行われた衆院補選や先の東京都知事選では、一部の候補者や政党による選挙妨害やポスター掲示板の占拠、政見放送での常軌を逸したパフォーマンスなど多くの問題行為が話題となりました。公職選挙法の隙間を突いたものも見えますが、言論・表現の自由が認められているとはいっても多くの国民が問題意識をもったのではないかでしょうか。選挙ですから互いの政策や言動を批評し合う場面があるのは確かですが、度を越えた誹謗中傷や虚偽事項の吹聴、悪意ある社会分断の助長などには厳しく対処していく必要があると考えます。立候補者も有権者も、一人一人が「権利」を持っている一方で、「責任」も背負っていることを今一度自覚し、互いを尊重し合う政治・社会を確立していくなければなりません。

福岡県議会議員 花田尚彦



## 2月定例会 一予算特別委員会

以下は一部抜粋です。全文は福岡県議会ホームページの「議事録検索」からご覧ください。

## 3月11日(月) 企画・地域振興部(市町村振興局 行財政支援課)

## 『ふるさと納税の現状について』

## Q) 花田

ふるさと納税は平成20年に創設されて以来、年々寄附額が増加しており、国の調査によると初年度に全国で81億円程度であった寄附額は、令和4年には約120倍の9,654億円と過去最高額を記録したそうである。このふるさと納税は地方の市町村にとって重要な財源になっており、財政力の弱い市町村においては特にそうである。福岡県においても同様で、市町村税收入に占める受入額の割合を見ると、上位3つとも赤村で38.1%、福智町で25.8%、東峰村も22.4%と、税収に対して2~3倍にもなる。もちろん、この受入額から返礼品やポータルサイトの手数料、配送料といった経費が引かれるので、実質的な受入額は約半分になり、それで割っても赤村で48.7%、福智町で13.0%、東峰村で11.6%といずれも市町村税収入を上回るほどになっている。しかし、これら自治体は財政力指数が0.1~0.2台といったもので、運営するおそれもある寄附金をまちの毎年の政策予算として期待していくのは大丈夫なのかという懸念もある。こうした観点から、寄附をどういったことに使っているのかは重要であると考えるが、県内のこれらの自治体ではどうなっているのかお答え願う。

## A) 行財政支援課長

例えば、令和4年については、赤村ではICTを活用した教育計画策定などの教養環境の整備、福智町では第3子以降の子育て世帯への支援、東峰村では保健福祉センターの運営などの事業に使われている。

## Q) 花田

市町村が新ルールを遵守できるよう取組を行ってきたとのことだが、事業者の過失により県内のある自治体の礼品の不適切な料理が地場産品基準に違反していたというケースや、直近で他県で産地偽装や商品が届かないという事案が相次いでいる。市町村がいくらルールを守ろうとしても事業者が守らなかったり意味がなく、行政に対する信頼も損なうことになる。そこで事業者にルールを遵守させるための取組が必要であると考えるがいかがか。

## 3月13日(水) 人づくり・県民生活部(男女共同参画推進課/女性活躍推進室) 福祉労働部(労働局 労働政策課/人権同和対策室)

## 『あらゆる立場の人の働く環境について』

## Q) 花田

近年話題となった男性アイドルグループ事務所内の性被害問題。性被害に会う方の大半が女性であるのは事実だが、このように男性が被害者になることもある。当然のことながら「男性の人の権」も守られるべきであり、必ずしも男性が強い立場にあるとは限らないわけである。D.Vなども同様であり男性の約5人に1人が配偶者から受けていると言われる。女性政策の推進はもちろん大切であるが、眞の「ジェンダー・男女平等」という意味はこうした対象者の認識やアプローチも含めていかねばならないと思う。そこで質問だが、まずこれらの点に対して見解をお聞かせ願う。また、全局的に見ても男女共同参画課の事業だけでなく、女性の活躍の場を広げジェンダーニギヤップを解消していくという事業が各部で増えているように思うが、府内各部との連携はどのように進めているのかお答え願う。

## A) 男女共同参画推進課長

ジェンダー平等社会は誰もが人権を尊重され、社会のあらゆる分野で自分に合った生き方を選択し、誰もがその能力を発揮することができる社会。こうした社会の実現のために、女性政策だけでなく男性の生きづらさに着目した事業も必要。このため県では、男性DV被害者のための相談や男性臨床心理士による専門相談も行っている。

また、ジェンダー平等・男女共同参画社会を推進することは、男性の働きやすさ、暮らしやすさにもつながるもの。産業、地域、教育など各部局が取り組む様々な分野において、男女の置かれている状況を客観的に把握・分析した上でジェンダー平等を推進する施策を企画立案する必要がある。

このため、知事を会長、各部長等を構成員とする「福岡県ジェンダー平等・男女共同参画推進会議」において関係部局間の連携を図り、福岡県男女共同参画計画の推進管理を行うとともに各部においてジェンダー平等の視点を盛り込んだ施策の検討を促すため、協議や働きかけを行っているところである。

## 3月14日(木) 商工部(中小企業振興課)

## 『適切な価格転嫁の実現について』

## Q) 花田

消費者の立場でどのような課題があると考えているか。

## A) 中小企業振興課長

事業者が、コストの上昇分を適切に製品やサービスの価格に反映させることで物価が上昇し、企業活動が活性化し販売につながる。消費者にはこうした賃金と物価の好循環が地域や産業・経済の成長・発展に繋がっていくことを理解してもらう必要があると考える。

## Q) 花田

これまでの賃金と物価の状態は諸外国と比べても日本だけ低く横ばいの状態で、まさしくデフレの悪循環になっている。2012年に自民党が政権復帰した安倍政権以降、このデフレからの脱却を掲げて年率2%程度の緩やかな物価上昇とそれに伴う販売上昇を目指し、様々な施策を打ってきた。しかし、新型コロナ流行やウクライナ・中東情勢を背景としたエネルギーや原材料等の高騰を受け、近年は想定以上の激しい物価上昇や販売上昇が起こっているのだと思われる。ちょうど今は春闇の山場で昨日は集中回答であったが、大企業では満額回答が相次いでいる一方で、中小企業とりわけ地方ではどうかの気になるところである。この消費者の課題に対して、県はどうのような取組を行っているのか。また、生産者や販売者の立場からは消費者に消費を維持してもらうことが重要と考えるが、県としてどう取り組むのか。

## A) 中小企業振興課長

消費者に価格転嫁の必要性を理解してもらうため、昨年10月及び2月に博多駅前で協定締結会が合同で取引適正化や販売上の実現を訴える「街頭啓発活動」を行うとともに、「価格交渉促進月間」には新聞広告やラジオ、X、LINE等による広報・啓発活動を行っている。また、先程、要求配付された、今月の「価格交渉促進月間」における新聞広告では、新聞紙面の中央見開き2ページに、13団体の取組や賃金と物価の好循環の仕組などをわかりやすく解説した記事を掲載し、適切な価格転嫁の必要性を広く訴えたところである。

## Q) 花田

今回は「生産者」「販売者」「消費者」と見てきたが、この「消費者」の部分が一番難しい。上の図と照ら合わせると、「適度な物価の上昇」の部分が「生産」、「賃金アップ」が「分配」、「購買力上昇」が「支出(消費)」に当たる。これらが「同時に、同規模に」働いていかないと、この構図や経済成長は成り立たない。その点を踏まえ、適切な価格転嫁の実現に向けて、商工部長の決意を伺う。

A) 商工部長

県では昨年2月、官民13団体で『価格転嫁の円滑化に関する協定』を締結した。この協定は3月末で期限を迎えるので、各団体に呼びかけ更新を図った上で各団体と連携し、委員ご指摘の通り、生産者や販売者、消費者など、それぞれを対象とした効果的な取組を展開してまいります。

また、今後、事業者を伴走支援する「中小企業貢上げ応援専門家」の派遣事業をスタートさせるとともに、来年度からは新たに事業者の価格転嫁スキル向上のためのセミナーも開催したいと考えている。こうした取組を通じ、中小企業における価格転嫁の円滑化を促進し、「賃金と物価の好循環」の実現を目指してまいります。

## 視察報告

以下は一部概要です。記載外の訪問先や視察で学んだ詳細な情報は、機会を頂けましたらご説明致します。

## 農林水産委員会 飯塚農林事務所管内

[日程] 1月10日(水)～11日(木) 【行先】飯塚市・田川市・宮若市・鞍手町

## ●有グリーンハート安田花卉(飯塚農林事務所内にて) 安田一平さんの花き経営の取組について



イベントでの作品

安田一平さんは宮若市の三ヶ戸で花木栽培や飾花などを手掛けられており、ハウスや冷蔵庫を導入することで開花時期等を見事にコントロール。梅や桜、桜、サカキといった多くの花木の生産・出荷期間を拡大化を目指して、別会社でフラワーディスプレイ事業に積極的に取り組んでおり、国内外の多くの花木類の需要拡大を目指しています。

また、花木類の需要拡大を目指して、別会社でフラワーディスプレイ事業に積極的に取り組んでおり、国内外の多くの花木類の需要拡大を目指しています。

イベントで出演されています。ちなみに、お父さまの安田克徳さんは高品質なタケノコの生産技術確立や、花木類との複合経営による地域雇用創出などが認められ、本年5月に「日本特用林産奨励会 特用林産功労者」を受賞されました。

## ●JA直轄アグリ士づくりセンター

## 『耕畜連携による堆肥の製造・供給の取組について』



一次発酵槽

鞍手町木室にある当センターを訪ね、堀勝彦組合長をはじめとする役員の皆様から説明をいただきました。こちらで生産する堆肥は強制通気や切返しを行い、発酵温度を70~80度と高い温度まで上昇させることで堆肥中の病原菌や雑草の種子を死滅させているため、安全・安心な堆肥として高い評価を得られています。実際に手で触れてみましたが、よい薰りであったのが印象的でした。

## ●株花田農園(代表:日高 ゆかりさん)

## 『女性農業者による6次化への取組について』



ひだまりとアンダント

日高さんは鞍手町の新延でブロッコリーとトマトなど多くの種類の野菜を栽培される傍ら、それら減農薬野菜を使用した加工品(冷凍スープやドレッシングなど)で審査員特別賞も受賞されています。商品開発やパッケージの設計費用をクラウドファンディングで調達された経験や、女性農業者を支援する様々な県の事業を有効に活用されてきた点は参考になりました。

## これらの他に、以下の箇所を視察しました。

## ●㈱みゆきストロベリーフーム @飯塚市

『女性農業者による大規模イチゴ経営の取組について』

## ●㈱レイインボーフーム @田川市

『大規模複合経営(ミニトマトの水耕栽培等)の取組について』

## 子育て支援・人財育成調査特別委員会 管内視察

[日程] 1月16日(火)～17日(水) 【行先】福岡市西区・糸島市

## ●いとしま出会い系サポートセンター

## 『出会い系・結婚応援の取組について』

いとしま出会い系サポートセンター JUNOALL(ジュノール)は非営利目的で設立され、18組の成婚カップル(2024年6月末時点)を送り出されています。対象者は当センターに来所可能な方で、結婚するために自ら努力される20歳以上の独身男女です。入会金や成婚報酬は必要ななく、行政や公的機関・地元企業とも連携した強力なネットワークで応援されます。入会審査時に必要な本人確認書類は、①写真付本人確認書類(運転免許証、マイナンバーカード等)、②給与証明書(源泉徴収票、所得證明書等)、③独身証明書とのことです。運営している「一般社団法人いとしま結婚応援団」は、年間を通じて地元紹介や夜のイチゴ狩りといった農業体験や登山など様々なイベントを企画されていますが、これらは地元の魅力を知ってもらうことで定住に繋げる効果もあるようです。



これらの他に、以下の箇所を視察しました。

- 子どもの村 福岡『社会的養育・里親養育支援モデルの取組について』
- 糸島市子どもの居場所「みのむ』『施設の概要について』
- 糸島市教育支援室「すばる』『不登校児童生徒支援の取組について』

## 農林水産委員会 八幡農林事務所管内

[日程] 2月6日(火)～7日(水) 【行先】北九州市八幡西区・小倉北区・岡垣町

## ●ジビエ料理屋 べんけい(店主:永山 律雄さん)

## 『ジビエの消費拡大の取組について』



永山店主による説明

中間市出身の店主・永山さんは移住していた石垣島で趣味として狩猟を始め、5年の準備期間を経て令和3年6月に岡垣町で当店をオープンされました。毎日のように山に入りノシシと奮闘する永山さんの説明を受けた後、店舗併設の施設で処理・加工された獣肉を使用したジビエ料理を実際にいただきました。熟練の処理のため独特の味や臭いは全くなく、むしろジビエの特性を活かした実に論理的な調理に感動しました。しかし同時に、大きな経験と覚悟をもってないとなかなか取り組めるものではないとも実感いたしました。ノシシやシカ、サルやゴマといった鳥獣の頭数・被害の急増は、近年、全国的に最も大きな課題となっており、早急な人間との住み分けや捕獲処理が求められている中でのジビエの消費拡大はどこまで可能であるのか、分析が必要です。

## これらの他に、以下の箇所を視察しました。

- 八幡農林事務所 @北九州市八幡西区『管内事業の概要説明、管内市町村要望』
- 北九州市立食肉センター @北九州市小倉北区『野生物侵入防止対策 緩衝地帯整備 @岡垣町』
- 野生動物侵入防止対策 緩衝地帯の整備状況について』

## 福岡県議会について

皆様とお話しする中で、「議会中は毎日どのようなことをしているのか?」「議員報酬や政治活動費はいくらで、どのように使っているのか?」「議会での情報はきちんとオーブンにされているのか?」といったご意見をよくいただきます。私は日頃の活動内容をこの『はなだより』に毎回記載しており、各議員の質問内容や会議録も県議会ホームページから見ることはできますが、身近な市町村議員と違って、県議会はなかなかわかりづらいものだと思います。そこでは、一日のスケジュール例や報酬・政務活動費の詳細、議会の傍聴・見学についてご説明いたします。

## ●議会中のとある日の私のスケジュール

- |        |  |
|--------|--|
| 7:10～  | 自宅出発…普段から運転は基本的に自分でしています。朝は極力、児童たちの通学時間に重ならないようにしています。 |
| 8:45～  | 県議会到着…下道を通りますが、通勤時間帪は1時間半ほどかかります。                      |
| 9:00～  | 各種打合せ…同僚議員や執行部との打ち合わせ、質問原稿づくりなど                        |
| 10:30～ | 代表者会議…副会長(2期生代表)としてオブザーバー参加                            |
| 11:30～ | 会派議員会…自民党県議団44名全員での総会                                  |
| 13:45～ | 会議【追加提案】…代表質問】質問者がトータル60分間、答弁も約60分ほど。                  |
| 14:45～ | 昼休憩…約1時間。我々の会派は控室にて皆同じお弁当を食べます。                        |
| 16:30～ | 本会議【代表質問】質問者がトータル60分間、答弁も約60分ほど。                       |
| 17:30～ | 予算特別委員会…各会派から選抜メンバーで。委員長の選出など。                         |
| 19:30～ | 各種打合せ  |
| 22:30～ | 知人と食事をしながらの意見交換  |
- 帰路…JR福北ゆたか線で小竹駅まで。(23:45自宅着) ※翌日朝は電車で通勤。



会派室の私の机

## 農林水産委員会 筑後農林事務所管内

[日程] 4月23日(火)～24日(水) 【行先】筑後市・八女市

## ●馬場水車場(所有者:馬場 猛さん)

## 『自然を活用した線香(お香)づくりについて』

八女市上陽町の山奥にあるこの水車場は、大正7年に村の有志21名の出資により建造され、昭和36年に先代の馬場次男さんが敷地ごと買受け、2代目の猛さんが昭和62年と平成20年に水車を作り替えて現在に至ります。製造工程としては、①材料(伐採や伐間後でのスギ葉)採集、②乾燥、③製粉(水車を動力に15本の杵で一日最大約800kg製粉可能)、④ふるいかけ、⑤練り合わせ、⑥形状成型(特注の機械からソーメン形状に出していく)、⑦乾燥し完成、だそうです。最盛期には10軒程の水車場で製造されていたそうですが、現在はここのみとなっています。しかし、最近ではこの空間と技術を見に多くの外国人観光客が訪ねて来られるそうで、「自然の力を利用した持続可能な活動力」「香料・着色料を一切使用しない安全な品質」「脈々と引き継がれてきた確かな技術」、環境問題に取り組む世界各国にとって重要な学びとなるに違いありません。馬場水車場のお香、ぜひ購入